

なぜこんな風にきもものに惹かれるのか きものブームの心の裏地を探る

津田和壽澄

・談

今、都市部を中心にきものブームになっています。年齢的にも幅広い層を惹きつける、その魅力の背景にあるものを、経営コンサルタントとして市場分析をし、「自身もきものを日常着ている」という津田和壽澄さんに、伺いました。

環境問題

せめてどこでもできないような人が、あると、きものを着たら、魔法がかかったとでもいうのか、人のことをちゃんと見て、背筋が伸びて発言もできていました。これはまさにきもの魔力でしょう。もうひとつ、それこそ家が一軒建つと、金銭感覚を麻痺させる魔力もありますね。それから、電車の中で親切にされたり、レストランでの扱いがよかったり、と

い、違うことをやりたい——個性を発揮したいというところ。たとえば40万でブランドのスーツを買うなら、同じ40万で一生着られるきものを買おうと、思うわけですね。さらにこのデフレ経済で、お給料も減ってボーナスがないところも多い中、わきあがってきたのが骨董市やビンテージもののブーム。ものによっては、逆に高くなっていきますが、要するに古着となれば、うまくいけば1000円できものが買えたりする。100万の物が

ひとりの時間

デフレ経済
いう威力は、みなさんも経験がおありと思います。次に言えるのは、人と違うことがしたい、という思い。20世紀は多くの人々がブランド品を手に入れました。とりあえずブランド品を手に入れて、次に何を欲しているかというところ、人と違うものが欲しい、違うことをやりたい——個性を発揮したいというところ。たとえば40万でブランドのスーツを買うなら、同じ40万で一生着られるきものを買おうと、思うわけですね。さらにこのデフレ経済で、お給料も減ってボーナスがないところも多い中、わきあがってきたのが骨董市やビンテージもののブーム。ものによっては、逆に高くなっていきますが、要するに古着となれば、うまくいけば1000円できものが買えたりする。100万の物が

わけじゃないですね。安いから、ではなく、そこがワンダーランドだから、興味があるから行っている。今まで、古着なんて買ったことのない人が骨董市に行くと、「あ、これはいい物だ」と思ったときに買う市場がもうできていたわけです。社会的には環境問題があります。昔の人はきものを着倒したら、ほどこいてお布団にした。布団を使いつつ倒したら、今度それが座布団になって今度はおむつに、ぞうきんに、そしてはたきになる。きものほもともと究極のリサイクル商品、そんなところも今の気分合致する

きもの 魅力、魔力、 威力

なぜきものに惹かれるのか、まずはきもの「魅力・魔力・威力」にあります。第一にきもの自身が美しい芸術であること。心地よい素材に触れたり、美しい色の妙に心躍らされたり、と「うたごころ」といわれる。作品として惹かれることもあれば、「きものを着ている人が素敵だな」とか「魅力的だな」と思うこともあります。それが、魅力。次に、きものは着る人に自信を与えてくれるところがあります。ふたんあまり発言もしないし、人と視線を合わ

1000円になることもあれば、10万の物が5000円になることもあるけれど、いずれにしても、ならかのきものが手に入り、気軽に楽しむことができます。ということで、デフレ経済の中にしっかりとハマりました。ユニクロのCMで、ブランドとしてのユーミンに

つたかすみ／創設者 園大 客員教授(リテネード) 極的孤独学)。経営・人事 コンサルタントの傍ら講演・取材・TVコメンテーター 出演等多方面で活躍。著書に『孤独力(講談社)』『ひとり』は怖くない』(祥伝社)。KAZUMI流きものワンダーランド主宰。 http://www.ladyweb.org/people/kinono





晩婚小子化

事だけじゃなくお稽古でもあ
るし、ダイエットもしなきゃいけ
ないし、バックもしなきゃいけな
い(笑)。そういう、たくさんやる

そのとき後の指をきかず、かつ
文化的香りが高い。そしてある程
度のお金で、自分で楽しめる
ことといったらーそこにきもの

DNA 日本人の

ことがある中で、必要なのがひと
りの時間。つまりホッとする時間。
ヒーリングミュージックを聴く。
エッセンシャルオイルを垂らして
お風呂に浸かってホッとする。今
までもいろいろあったでしょう。
でも、もうそれだけじゃ飽き足ら
ないんです。それプラスアルファ
が欲しい。ペットブームもそのひ
とつでした。でも、独身女性が犬
を飼ってたりすると「愛情のはけ
口として飼ってる(笑)」と思われ
るんじゃないか、それこそ負け犬
に(笑)通じるんじゃないかと、世
間が少し気になるかもしれません。
言葉では出さないし、そんなこと
はあり得ない顔をしているわけだ
けど、なんとなく、あるわけです
(苦笑)、無意識の中に。しかし、
癒されたい。自分のエネルギーを
高めて、明日の自分に向かいたい
わけです。

がはまったんです。負け犬でもな
く、日本の美しい伝統と芸術を愛
でるといふ点にもエクスキューズ
があるわけです。
きものを愛する気持ちは日本人
のDNAに刻みこまれているので
しょう。七五三のときに、きもの
を子供に着せると喜ぶでしょう。
そのDNAがあるからこそ、いろ
いろな文化人、ニュースキャスタ
ーや、タレントさんが、きものを
今、一生懸命着たがる(笑)。やは
りDNAが起動したのではないで
しょうか。それを支えるインフラ
としてあるのが、リサイクル、デ
フレ経済、晩婚少子化などの社会
環境。それにより顕在化したのが、
今のブームと考えられます。

上／ほぼ1年以内に刊行さ
れた、きもの関係の雑誌や
本の一部。一般女性誌も特
集を組むことが多くなった
し、若い20代向けの本や、
男性ものも目立つ。